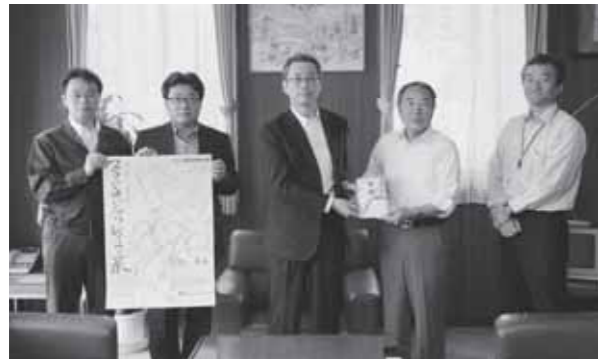


## ジブリの世界を楽しんで

### 「スタジオジブリ・レイアウト展」特別招待券寄贈

東京エレクトロン九州(株)(合志市)の佐伯幸雄執行役員が6月14日、赤峰教育長に目録を贈呈されました。これは、東京エレクトロン九州(株)が社会貢献活動の一環として、7月15日から熊本県立美術館で開催される「スタジオジブリ・レイアウト展」(同社協賛)の特別招待券を町内小学校の児童を対象に寄贈されたものです。佐伯執行役員は、「この機会にスタジオジブリの楽しい世界を子どもから大人まで楽しんでもらいたい」と話されました。



▲目録を贈呈する東京エレクトロン九州(株)

## 高野力秦さん45<sup>kg</sup>級日本チャンピオンに

### KING OF STRIKERS Jr 大会

キックボクシングのKING OF STRIKERS Jr大会が4月10日、福岡市で行われ、菊陽中3年生(SK-ACTIVE所属)の高野力秦さん(上津久礼)が45<sup>kg</sup>級タイトルマッチで日本チャンピオンに輝きました。高野さんは「がむしゃらに戦った。勝ったときはとてもうれしかった」と試合を振り返りました。

週に3日ジムに通い、自宅で自主練習もかかさないと高野さん。「7月にも大会があるので、優勝を目指して頑張りたい」と力強く話されました。



▲ベルトとトロフィーを持つ高野さん

## 九州大会への出場権獲得

### 第8回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会

第8回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会が6月4日、芦北町宮岩崎グラウンドで行われました。

昨年度優勝している菊陽町チームは大健闘を見せ、芦北郡チームと同点でしたが、大会規定により準優勝となりました。今大会の1・2位は、9月に行われる九州大会に出場します。

大会に出場した岸田年弘さん(三里木)は、「昨年は優勝したので今年も狙っていたが、2位は残念。九州大会ではその分頑張りたい」と語りました。



▲準優勝した菊陽町チームの皆さん

## 被災地の復興を願う

### 菊陽ブロック自動車整備組合から義援金贈呈

町内の17の自動車関連会社で組織されている菊陽ブロック自動車整備組合が5月13日、後藤町長に東日本大震災に対する義援金を手渡しました。

ブロック長の松田裕之さん(光7町内)は、「災害はいつどこで起こるか分からない。少しでも被災地の力になりたい」との思いで各会社に呼びかけ、たくさん義援金が寄せられました。後藤町長は、「町には皆さんからたくさんの義援金が寄せられた。必ず被災地に届ける」と述べました。



▲菊陽ブロック自動車整備組合から義援金を受ける

## 花と緑のまちづくり

### くまもと緑のリレーフォーラム in きくよう

くまもと緑のリレーフォーラム in きくようが5月28日、図書館ホールで開かれました。

目白大学の出英子准教授が、植物や庭の性格に合わせたガーデニングの仕方として「適材適所の植物選び」について講演し、希望者には寄せ植え教室を行いました。また、熊本県立大学の簗茂理事長は、一人一人が美しいまちを作り、みんなにその美しさを貸す「緑のまちづくりと貸景」について講演しました。花と緑で輝くまちづくりを目指しましょう。



▲寄せ植えは図書館に飾られています

## 雨にも負けず全力プレイ!

### 第28回武蔵ヶ丘支所管内グラウンドゴルフ大会

武蔵ヶ丘支所管内区長会(本孝征昭会長)主催のグラウンドゴルフ大会が6月5日、光の森多目的広場で開催されました。参加者は降りしきる雨の中、悪条件にもかかわらず、ホールインワンを出すなど、熱戦を繰り広げながら、住民相互の親睦交流を深めました。

大会結果は次のとおりです。

【優勝】 八久保B

【準優勝】 八久保C 【第3位】 武蔵ヶ丘8町内B

【ホールインワン】 3人



▲ホールポストに狙いを定めて打つ

## 旬の農産物で大盛況

### さんふれあ春の感謝祭

さん彩出荷協議会による「春の感謝祭」が5月22日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあで開催され、会場内は大勢の来場者でにぎわいました。

当日は好天にも恵まれ、にんじんの詰め放題コーナーでは、町特産のにんじん200<sup>kg</sup>があっという間に完売。「甘くておいしい」と好評だったとうもろこしやぜんざいの振る舞いコーナーには、長蛇の列ができました。来場者は旬の農産物を堪能し、終始笑顔を見せていました。



▲袋に入るだけのにんじんを詰め込む来場者

## 松野和宏さんが日本農業新聞賞を受賞

### J A青年組織手づくり看板全国コンクール

平成22年度J A青年組織手づくり看板全国コンクールの表彰式がこのほど行われ、J A菊池青壮年部菊陽支部を代表して看板づくりをされた松野和宏さん(道明)が日本農業新聞賞を受賞しました。

松野さんは、農業における女性の活躍へエールを送りたいとの思いで今回の看板を作り、見事に入賞。「お世話になった人たちに恩返しができる。今後は最優秀賞を目指して絵を描いていきたい」と喜びと今後の意気込みを語りました。



▲表彰を受けた松野さん